TEBUFLOQUIN

水稲・大豆用殺菌剤

農林水産省登録
第23264号

クミアイ
トライ®
フロアブル

殺菌剤分類 U16

トライは三井化学クロップ&
ライフソリューション株式会社の
登録商標です。

テブフロキン水和剤

大豆に適用拡大!

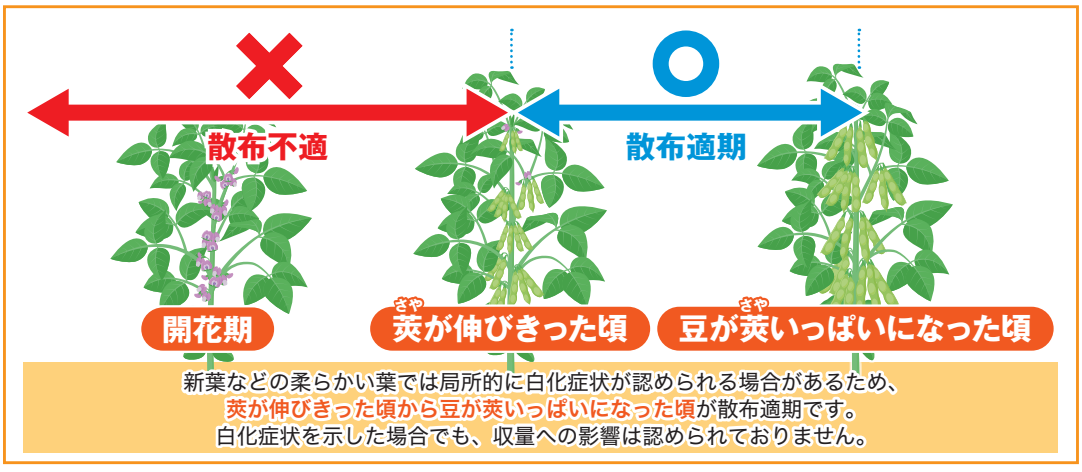
無人航空機による散布もできるようになりました。

殺菌成分 **テブフロキン** 配合!!

ダイズ紫斑病に効く!

ダイズ紫斑病

●散布適期の目安



新葉などの柔らかい葉では局所的に白化症状が認められる場合があるため、
莢が伸びきった頃から豆が莢いっぱいになった頃が散布適期です。
白化症状を示した場合でも、収量への影響は認められておりません。

※商品写真はイメージであり、
実際と異なる場合がございます。

自然に学び 自然を守る
クミカ

「無人航空機による散布」適用拡大!

クミアイ トライ®フロアブル

農林水産省登録
第23264号

有効成分：
テブフロキン…15.0%
人畜毒性：普通物※

※毒劇物に該当しないものを指していう通称

トライフロアブルの特長

●大豆と水稲の重要病害に！

●大豆の紫斑病のほか、水稲のいもち病、稲こうじ病、穂枯れ病（ごま葉枯れ病菌）にも効果があります。

●有効成分“テブフロキン”

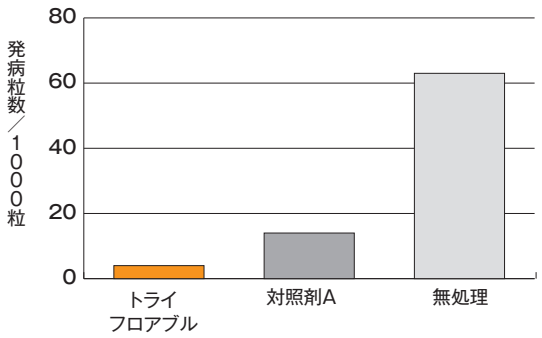
●トライ（テブフロキン）はミトコンドリア電子伝達系の特異的な部位に作用していると考えられており、Qol剤と交さ耐性を示しません。

●適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テブフロキンを含む農薬の総使用回数
だいず	紫斑病	1000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
		8倍	0.8L/10a			無人航空機による散布	
		16倍	1.6L/10a				
稲	いもち病 稲こうじ病 穂枯れ （ごま葉枯病菌）	1000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
		250倍	25L/10a				
		8倍	0.8L/10a			無人航空機による散布	

●試験成績

紫斑病　　試験場所:岩手県農業研究センター、2012年



【品　　種】リュウホウ
【播 種 日】6月11日
【開 花 日】7月30日
【処 理 日】8月23日（開花24日後）
　　および9月3日（開花35日後）

【発生状況】少発生
【調 査 日】10月13日
【調査方法】
1区あたり20茎の1000粒について発病粒数を調査した。

【結果・考察】…トライフロアブルは高い防除効果があると考えられた。

●混用事例

■散布の場合

混用相手薬剤名	判定
キラップフロアブル	●
スタークル液剤10	●
スミチオン乳剤	●
ダントツフロアブル	●
トレボン乳剤	●
プレバソンフロアブル5	●
カスケード乳剤	●

■無人航空機による散布の場合

混用相手薬剤名	判定
キラップフロアブル	●
スタークル液剤10	●
スミチオン乳剤	●
ダントツフロアブル	●
トレボンスカイMC	●
トレボンエアー	●
プレバソンフロアブル5	○
カスケード乳剤	●

●：混用して問題なかった　○：混用で凝集するが、撹拌すれば散布に問題なかった

<混用事例表についての注意事項>

1. 使用者が混用する際の目安になるように、物理化学性・薬害等の試験例・事例を参考にまとめました。混用事例を紹介するもので、混用を薦めるものではありません。
2. 全国的に見た一応の目安として作成しており、地域・産地で経験や知見がある場合は、現地の指導機関の見解を優先してください。
3. 農薬は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があります。
4. 2024年3月末日現在の登録内容に準じて作成しています。その後、登録内容が変更される場合もありますので、農薬の使用前にはラベルで適用内容の確認を行ってください。

●効果・薬害等の注意

●本剤を無人航空機による散布に使用する場合には次の注意事項を守って下さい。
1.散布液の飛散によって他の動植物等への危被害あるいは自動車の塗装などへ被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
2.微量散布装置以外の散布器具は使用しないで下さい。
3.各散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
4.散布中薬液の漏れのないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
5.散布終了後は次の項目を守って下さい。
a）使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切って下さい。
b）機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないで下さい。

●本田の水稲に対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を用いて下さい。
●だいずに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、新葉にかからないように注意して散布して下さい。
●周辺の作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布して下さい。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
●散布液調整後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布して下さい。
●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。　● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。　● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
● 使用後の空容器は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理して下さい。　● 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は

JAグループ 農協 | 全農 | 経済連
全農 は登録商標 第4702318号

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス　https://www.kumiai-chem.co.jp

この印刷物の内容は2024年3月末日現在のものです。

2376(24-4)